



# 横浜訓盲学院 だより

第54号(2022年3月号)

2022年3月7日発行

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181番地 URL : <http://kunmou.jp/>

代表 TEL:045-641-2626 FAX:045-641-2627 E-mail : [jimu@kunmou.jp](mailto:jimu@kunmou.jp)

普通部 (直通) TEL/FAX:045-662-1710 理療科 (直通) TEL/FAX:045-662-1833



## お別れのごあいさつ

学院長 つぶくひろし  
津布工 浩

このたび、2021年度をもって学院長としての契約期間が終了ということで、この3月で学院を去ることになりました。

これまで、現場の教員時代を含めて39年間、学院の教育に携わってまいりました。学院長としては2年半ほどの短い期間で、道半ばという思いではあります、お別れとなります。

学院長時代は、ほとんどがコロナ禍の学校運営の仕事で、学校としても、私にとってもかつてない経験の連続でした。

振り返りますと昭和の終わりから、平成、令和とたくさんの出会いと様々な出来事がめぐってきます。学院に着任した当時の普通部はA、B、Cのグループ名でグループ分けされていました。それも様々な形で変遷してきましたが、無学年制・チームティーチングの教育体制のもと、盲重複障がい教育一筋で取り組むことができました。一人ひとりの子どもたちから学び、その中で、じっくりと時間をかけ、一瞬の輝きを放つがごとく見てくれた子どもたちの成長の瞬間瞬間は、今も私の宝物です。

そして、その宝たちの成長とともに感動し、喜び、支えてくださった保護者の皆さん、子どもの成長の可能性を信じ、一途に向き合って、一緒に歓声を上げてくれた同僚の皆さん、本当にありがとうございました。

横浜訓盲学院の「愛の精神」は、この学院のどこかに、必ず、一燈のごとく幼児児童生徒を照らし守ってくれていることを願い続けたいと思います。

長い間、お世話になりました。深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



「狭い門から入りなさい。」  
マタイによる福音書 第7章13節

《3月の聖句》 楽なことばかり求めてばかりではなく、困難な道を進んで歩みましょう。

## 収穫感謝祭

学院では昔から、収穫感謝祭に合わせて献金を募り、日ごろお世話になっている方々にお花をお届けしています。今年度は11月18日(木)に収穫感謝礼拝が行われました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、全員が集まって礼拝を行うことはできませんでしたが、それぞれグループごとに分かれてオンラインで参加し、教員、幼児児童生徒みんなで、周囲の方々の支えと神さまのお恵みに感謝し、お祈りをお捧げしました。

収穫感謝祭で募った献金で、おはなし会のボランティアの方、近隣の柏葉公園内にあるログハウス、山手駅、横浜市営バス滝頭営業所などへ、シクラメンのお花をお贈りしました。みなさん、とても喜んでくださいました。

### (収穫感謝礼拝の分かち合いへのお礼)

関東学院六浦小学校様から児童の皆さんに収穫感謝礼拝で捧げた実りの「果物」をご寄贈いただきました。果物と一緒に、手作りのメッセージカードが添えられてありました。温かいお心遣い、たいへん感謝いたします。ありがとうございました。



### 神奈川県盲学校

#### 卓球(サウンドテニス)/フロアバレー/ボール/ボッチャ大会

12月11日(土)、上記大会が横浜市立盲特別支援学校で2年ぶりに行われ、本校からは普通部の生徒4名が参加することができました。今回は感染防止対策に留意しての開催でしたが、久しぶりの他校の生徒との交流に、子どもたちは練習からとても気合が入っていました。



また、今年度新たに、「ボッチャ」が競技として加わり、新しい形での大会となりました。初めてのボッチャという球技の体験でしたが、ボールを的に向かって投げる姿は、まるで日本代表選手のようでした。



サウンド・テニス・テニスのラリー大会では他校の生徒と息を合わせてより多くのラリーを続けようと頑張りました。当日はどの競技も熱戦が繰り広げられ、喜ぶ姿や悔しがる姿、「本気」な姿を見せてくれました。

## クリスマス祝会

新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度は開催できなかったクリスマス祝会が12月25日(土)、2年ぶりに行われました。感染防止対策のため、グループ別に教室等でZoomを使った、例年とは違う形での祝会となりました。毎年楽しみにしてくださっている保護者の方々に、幼児児童生徒みんなの発表を見てもうることができました。



今年度は、幼小グループがペーパージェントを担当しました。子どもたちそれが役になりきって、かわいらしい歌声や演技で楽しませてくれました。ピアノを弾いてくれる子もいました。マリア様役の子が最後に「せーの」と言うと、「イエスさま、お誕生日おめでとう」とみんなで声を合わせてイエス様の誕生を祝う言葉がペーパージェントの締めとなりました。みんなが楽しむことのできた祝会でした。



## フラワーアレンジメント教室

1月21日(金)、日本フラワーデザイナー協会様によるフラワーアレンジメント教室を開催しました。

本来は、協会の先生方にお越しいただき、直接子どもたちに教えていただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大により当日のご来校は見送り、幼児児童生徒と教員のみで行いました。前日には若松静子先生をはじめ2名のお花の先生が来校してください、花の剪定やアレンジメントの見本を作っていただき、その模様を動画撮影して、画面を通して子どもたちにわかりやすく解説するなど、事前準備をして下さいました。

当日は、子どもたちの前で解説の動画を流し、それに基づいて子どもたちは、花を触り、形、香りを感じながら、各々フラワーアレンジメントを楽しみ、個性ある作品を完成させました。

コロナ禍において、この事業をして下さいました日本フラワーデザイナー協会様、若松先生をはじめお花の先生方に感謝申し上げます。



## 職員研修「手話講習会」

さまざまな実態の子どもたちが通っている横浜訓盲学院は、教員もいろいろなコミュニケーション方法について試行錯誤しています。その一つが手話表現です。



1~2か月に1度、手話通訳士の先生をお招きし、手話講習会を開催しています。日常会話や暗唱聖句、賛美歌などの手話表現について教えていただいている。手話は、手だけでなく表情も含めて身体全体で表現します。みんなで頭を使い、手を動かし、楽しく講習に参加しています。また、ろう者とのかかわりについてもお話をいただき、毎回とても有意義な時間となっています。手話講習を通して、“相手に伝えよう、相手のことをわかる”という気持ちがとても大切という、コミュニケーションの基本を改めて実感する研修となっています。



## 視覚障がい ミニ知識

### 点字のこと、知ってください③

これまで、点字の歴史と点字の大まかな仕組みについてお伝えしてきました。今回は点字を打つ(書く)道具のことと、そこから派生する事柄について書きます。

点字を打つ道具としては「点字板」「点字タイプライター」「パソコン」などがあります。それぞれ長所短所があり、点字を打つ人の状況や使い勝手などで使い分けています。

初めて点字を書いてみようとするとき、まずは「小型点字器」(または「携帯用」)というプラスチック製の定規と点筆を使うことが多いです。持ち運びもしやすく手軽に書いてみることができますが、書く時と読む時とでは文字の左右が逆になり、右から1点1点打ち出して書く必要があります。

点字タイプライターは両手の6指を使って一度に点字一文字を打ちます。指使いを覚えるとピアノのように打っていくことができ、その中でも「パーキンスブレイラー」は凸字で打ち出されるので、書きながら確かめることができます。ただし、外国製なので高価なのと重たいのが難点。最近はパソコンで点字を書くことも増えています。

いずれにしても点字で書かれた文章は枚数が多く、小学校1年生の教科書でも点字版では1冊あたりが学習図鑑くらいの厚さになり、かばんや本棚がいっぱいになってしまいます。



## 食事の時は目の前の食べ物に集中しましょう

最近では時間を有効に使うため、「ながら行動」が取り上げられるようになりました。音楽を聴きながら勉強や作業をすると効率が良いと言われていますが、デメリットもあり注意点も紹介されていると思います。

食事の時はどうでしょうか? テレビを見たり、新聞を読んだり、スマホを操作しながら食べたりしていませんか?

昔から「ながら食べは消化が悪くなる。」と言われ、注意を受けることがあったかと思います。食事に集中し、口にしている食材をよく味わうことに意識を向けることは瞑想的な効果を得られるとされています。実は、東洋医学的にも食べるときに集中するという態度は理にかなっています。ゆっくり時間をかけて咀嚼すると消化の手助けにもなります。たまには時間かけて食べるのも良いかもしれませんね。



## 寄付金贈呈式

11月17日(水)、「神奈川韓国青年商工会」様より寄付金贈呈式が管理棟2階で行われ、(学)横浜訓盲学院 津布工浩学院長と、(福)横浜訓盲院 伊藤紀子施設長にそれぞれ、梁龍徳会長から寄付金を受領いたしました。

11月22日(月)、「神奈川県眼科医会(宇津見義一會長)」様より寄付金をいただきました。

あたたかいご支援・ご配慮をいただきまして、誠にありがとうございます。



## 《今後の行事予定》

### 3月

- 18日(金) 2021年度卒業式・修了式
- 22日(火)~春休み

### 4月

- 1日(金) 理療科新入生オリエンテーション
- 8日(金) 2022年度入学式・始業式

## 《2022年度生徒募集》

### ◎募集定員 (各部若干名)

- |       |                              |
|-------|------------------------------|
| 【普通部】 | 幼稚部・小学部・中学部<br>高等部普通科・専攻科生活科 |
| 【理療科】 | 高等部専攻科保健理療科<br>高等部専攻科理療科     |

### ◎募集期間《二次募集》

普通部、理療科ともに3月4日(金)まで随時

◎お問い合わせ 代表 TEL.045-641-2626

## 国家試験

2月26日(土)、27日(日)に第30回あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師国家試験が行われ、今年度は4名の理療科生徒が現役受験生として臨みました。3年前の入学からスタートした受験勉強の集大成でしたので、今はホッと一息ついています。

昨年度から「治療家としての資質向上」を目的に、問題数が10問増えました。さらに、特定の科目に分類しづらい応用問題も増え、難易度は高くなっています。

合格発表は3月25日(金)です。受験した全員が免許を取得し、本当のスタートが切られるよう、教職員一同心から願っています。

## —ご協力のお願い—

### [2022年度 賛助会員]

私たちの視覚障がい教育にご理解いただき、ご支援下さる団体・個人の方々の賛助会員を募らせていただいているおります。よろしくお願い申し上げます。

【年会費】 法人一口10,000円、個人一口1,000円(口数は問いません)

【お支払い方法】 ・郵便振替: 加入者名 学校法人横浜訓盲学院(口座番号00200-5-40861)

・現金

【その他】 会費以外に寄附金も有難くお受けいたします。

【免税措置】 ・会費は寄附金として扱われ、横浜訓盲学院より領収書が発行されます。

・寄附金控除については「所得控除制度」と「税額控除制度」のいずれかの制度をご利用いただけます。

【お問合せ先】 横浜訓盲学院 事務部 TEL.045-641-2626